

Abstract

AROMA RESEARCH No.71(Vol.18 No.3)

屋久島における香り成分等の活用とその関係

堀内直哉

<要旨>近年、生活者の QOL(Quality of Life)の変化や、企業及び研究機関等における先進的な研究成果の波及に合わせるように様々な領域で香り成分の活用がなされている。特に香りに関係する人材がより俯瞰的な視点に接近し、統合的な連続性の展開を意識していく事で、認知症や MCI(Mild Cognitive Impairment)等の課題解決につながり地方創生へと導く。

また、人工的な香りと自然の香りでは、受ける印象や生体変化が変わる研究データがあり、地域らしさと香りは大切な関係性を持つ。

<キーワード>QOL(Quality of Life), MCI(Mild Cognitive Impairment),地方創生,生体変化